

# 北海道で考える北東アジア国際情勢シンポジウム2024

## ～ロシア・ウクライナ戦争の東アジアへの影響を考える～

日時 2024年3月13日 (水)

時間 14:00~16:00

形式 オンライン開催  
(ZOOMウェビナー方式)

### ● タイムテーブル

挨拶 報告 (30分) x 2

ディスカッション (45分)

質疑等

ロシアの軍事侵攻で始まったウクライナでの戦争が泥沼化し、終戦あるいは停戦の目処も立たない中、この戦争を巡って国際情勢も大きく変化し続けてきた。そうした情勢の変化を踏まえ、防衛省防衛研究所の兵頭慎治氏と広島市立大学広島平和研究所の加藤美保子氏からの報告により、この戦争が日本を取り巻く北東アジアの国際情勢及び安全保障環境にどのような影響を与えているかについて、皆様に最新情報を提供すると共に、この問題について考える場とします。

### シンポジウムプログラム

#### 基調報告

「ロシアのウクライナ侵攻が北東アジアの安全保障に与えた影響」

**兵頭 慎治氏**

防衛省防衛研究所 研究幹事



#### 基調報告

「ロシアのウクライナ侵攻が北東アジアの外交に与えた影響」

**加藤 美保子氏**

広島市立大学広島平和研究所  
専任講師



1968年、愛媛県生まれ。上智大学外国語学部ロシア語学科、上智大学大学院博士前期課程を修了後、1994年に防衛省研究所研究員として採用。外務省在ロシア日本国大使館専門調査員、英国王立防衛安全保障問題研究所客員研究員、内閣官房国家安全保障局顧問等を歴任。現在、青山学院大学大学院兼任講師、国際基督教大学非常勤講師、外務省研修所講師等を兼任。専門は、ロシア地域研究、国際安全保障論。論文、メディア出演等多数。

広島市立大学広島平和研究所専任講師。学術博士（北海道大学）。北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター特任助教を経て2001年4月より現職。専門は、現代ロシア外交、北東アジア地域研究。北東アジア学会理事（2020-現在）。近著に『現代ロシア外交』（油本真里、溝口周平編『現代ロシア政治』法律文化社、2023年に収録）などがある。

### ● ディスカッション ▶ コーディネーター 高田 喜博

公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター 客員研究員

● 参加方法：右の2次元コードから参加登録、または下記メールあてに氏名・所属・連絡先を記載の上お申し込みください。【参加料：無料】

● お問い合わせ先：HIECC 情報企画部（担当：加納・高田）

☎011-221-7840 ✉rchdiv@hiecc.or.jp



主催 公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター (HIECC)  
NPO法人ロシア極東研 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター (予定)